

# 第144回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年3月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,995	-1.19	-0.81	4,057	-0.19	-0.58
東部地区	14,165	-0.72	-0.65	5,505	0.41	-0.41
西部地区	10,803	0.45	-0.12	3,973	2.31	0.07
駅南地区	6,364	0.47	-0.99	2,626	2.81	-0.56
半田地区	3,535	0.79	-0.73	1,291	1.65	-0.53
横山地区	5,637	-0.44	-0.84	1,833	0.32	-0.86
茨目・田尻地区	6,858	-1.22	-0.44	2,275	-1.89	-0.56
荒浜地区	5,214	-1.17	-0.11	2,019	0.19	0.19
その他地区	21,492	-1.83	-0.30	7,178	-0.81	-0.06
西山町地区	6,498	-1.76	-0.13	2,152	-0.32	-0.09
高柳町地区	2,034	-4.37	-0.29	851	-1.27	0.11
柏崎市計	92,595	-0.96	-0.47	33,760	0.25	-0.28
刈羽村	4,968	-0.58	-0.38	1,524	0.79	0.06
小国地区（長岡市）	6,576	-1.40	-0.27	2,151	0.09	-0.09
出雲崎町	5,328	-1.40	-0.61	1,828	-0.05	-0.27
合計	109,467	-0.99	-0.46	39,263	0.25	-0.26

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が901人、0.96％、刈羽村が29人、0.58％、小国地区（長岡市）が94人、1.40％、出雲崎町が76人、1.40％とそれぞれ減少し、全体では1,100人、0.99％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で444人、0.47％、刈羽村が19人、0.38％、小国町で18人、0.27％、出雲崎町が33人、0.61％と学卒者等の流出により減少しており、全体では514人、0.46％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比で柏崎市が87世帯、0.25％、刈羽村が12世帯、0.79％、小国町が2世帯、0.09％と増加し、出雲崎町が1世帯、0.05％と減少した結果、全体では100世帯、0.25％と増加している。

また、前月比においては、柏崎市で97世帯、0.28％、小国町が2世帯、0.09％、出雲崎町が5世帯、0.27％と減少し、刈羽村が1世帯、0.06％と増加した結果、全体では103世帯、0.26％の減少となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,241		-4.83		-4.61	
月間有効求職者	1,042		-18.78		4.20	
月間有効求人倍率	1.19	0.81	0.17*	-0.16*	-0.11*	-0.06*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,241人と前年同月比で63人、4.83％の減少、前月比でも60人、4.61％と減少した。

一方、月間有効求職者数は1,042人と前年同月比で241人、18.78％と大幅に減少したものの、前月比では42人、4.20％と増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.19倍と前年同月比で0.17ポイント上回ったが、前月比では0.11ポイント下回っている。なお、県平均0.81倍に対しては0.38ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が450人と前年同月比で68人、13.13％の大幅な減少、月間新規求職者数も327人と前年同月比で62人、15.94％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.38倍と前年同月の1.33倍に対して0.05ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年3月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	160	114	66	745	339
共 同 住 宅	1	-2	1	13	-3
事 務 所	3	1	0	15	6
作 業 所・工 場	4	4	1	30	5
営 業 建 物	2	1	1	23	-1
公 共 建 物	0	0	-1	2	-6
そ の 他	13	4	3	117	1
合 計	183	122	71	945	341

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、引き続き「中越沖地震」からの本格的な復旧から、申請合計が183件と前年同月比で122件、前月比でも71件と大幅に増加している。工種別内訳の主な増減を見ると、一般住宅（併用）が前年同月比で114件、前月比で66件と大幅な増加になっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が72件、増築が69件、改築が42件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が88件（うち新築31件、増築39件、改築18件）、市外施工業者が72件（うち新築28件、増築24件、改築20件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,755	1.71	0.07	23,314	7.80	-4.79
電 力	11,807	-5.30	-0.68	47,364	-2.59	-4.21

(資料出所： 東北電力㈱柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,107口、1.71%の増加、前月比でも48口、0.07%の増加となった。一方、電力では前年同月比で662口、5.30%の減少、前月比でも82口、0.68%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,687千kwh、7.80%の増加となったものの、前月比では1,175千kwh、4.79%と減少している。一方、電力においては前年同月比で1,261千kwh、2.59%の減少、前月比でも2,083千kwh、4.21%の減少となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,860,159	4.45	-5.19	649,305	0.69	-4.38
営 業 用	306,338	5.42	-14.30	118,233	2.82	5.48
工 場 用	702,196	29.61	-15.87	138,064	-0.87	1.38
官 公 学 校 用	581,803	-11.05	-21.25	73,246	-14.57	-3.90
そ の 他				28	-88.80	2700.00
合 計	3,450,496	5.60	-11.37	978,876	-0.62	-2.45

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で183,234m<sup>3</sup>、5.60%の増加となったものの、前月比では442,734m<sup>3</sup>、11.37%の大幅な減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比で官公学校用を除く全ての用途で増加したが、前月比では全ての用途で大幅に減少している。

一方、水道給水量は前年同月比で6,201m<sup>3</sup>、0.62%の減少、前月比でも24,666m<sup>3</sup>、2.45%と減少した。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用が大幅に減少しており、前月比では家庭用と官公学校用が減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	83,466	12.88	20.69	87,495	13.69	19.86
西 山	51,440	34.52	30.93	46,659	35.79	30.37
米 山	22,430	15.58	38.77	21,172	18.85	35.26
合 計	157,336	19.56	26.26	155,326	20.28	24.82

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で25,751台、19.56%と大幅に増加し、前月比でも32,729台、26.26%の大幅な増加となっている。一方、出口においても、全体では前年同月比で26,199台、20.28%、前月比でも30,888台、24.82%と大幅に増加している。インター別の内訳を見ると、全てのインターの入口・出口において、前年同月比、前月比ともに2桁台の大幅な増加率となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	349,413	4.35	0.77	146,662	4.15	-4.04
平 残	345,803	6.20	0.02	150,495	8.86	0.70

預金は、末残が前年同月比で14,567百万円、4.35%の増加、前月比でも2,704百万円、0.77%の増加となっている。また、平残においても前年同月比で20,201百万円、6.20%の増加、前月比でも94百万円、0.02%の増加となっている。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で5,854百万円、4.15%の増加となったものの、前月比では6,182百万円、4.04%の減少となった。また、平残は前年同月比で12,254百万円、8.86%の増加、前月比でも1,056百万円、0.70%と増加しており、引き続き堅調に推移している。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,225	1.83	0.24
交 換 金 額	4,259	10.11	6.55
不 渡 り 手 形 枚 数	1	-50.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	1	-86.84	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で94枚、1.83%の増加、前月比でも13枚、0.24%と増加している。また、交換金額においても前年同月比で391百万円、10.11%の増加、前月比でも262百万円、6.55%の増加となっている。なお、不渡手形は1件、1百万円発生している。

3月の法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は5件(前年同月7件、前月3件)、負債総額19億円(同196億円、同29億円)、1件当たりの負債額3億円(同28億円、同9億円)となった。

地区別では下越地区で2件(新潟市2件)、中越地区で3件(長岡市3件)、上越地区では発生していない。業種別は建設業1件、製造業1件、販売業3件で、倒産原因別の状況は販売不振4件、売掛金回収難1件となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で19億円と前年同月比では件数で2件減少し、負債総額では前年同月に負債100億円以上の大型倒産が発生していたことから177億円の大幅な減少となっている。

県内企業の景気状況は、引き続き素材価格の高騰や円高の進展などから厳しい収益環境となっており、経営体力に劣る中小零細企業の資金繰りの悪化が懸念されるなど、売上等が伸び悩むなかコストアップによる収益の低迷から、依然として倒産の動向については注視していく必要がある。